

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和5年10月13日（金）に開催された。

1 決裁事項

令和5年警察署留置施設実地監査の実施計画について

2 報告事項

(1) 令和5年9月中の苦情の取扱いについて

県警察から、令和5年9月中の苦情の取扱いに関する報告があった。

令和5年9月中の苦情受理件数は8件（公安委員会宛て2件、警察宛て6件）で、パトカーの走行、警察官の対応及び行為に関するものであるとのことであった。

委員から、「パトカーは目立つので、走行時、十分注意していただきたい。」との発言があった。

(2) 会計検査院実地検査の受検結果について

県警察から、会計検査院実地検査の受検結果に関する報告があった。

9月26日から同月29日までの4日間、会計検査院による実地検査を受検した結果、指摘事項はなかったとのことであった。

委員から、「指導事項は、よく検討して対応してもらいたい。」との発言があった。

(3) 東北管区警察局による監察の受監結果について

県警察から、東北管区警察局による監察の受監結果に関する報告があった。

8月29日から同月31日までの3日間、東北管区警察局による監察を受監したとのことであった。

委員から、「引き続き、指導をお願いします。」との発言があった。

(4) 秋田市新屋地内におけるクマの連続人身被害について

県警察から、秋田市新屋地内におけるクマの連続人身被害に関する報告があった。

10月9日午前9時過ぎ、秋田市新屋地内の住宅街において、60代から80代までの男女5人（クマから逃げる際に転倒した方を含む。）がクマに襲われるなどした人身被害が発生したことから、現場周辺の広範囲な立入規制や警戒、付近住民への注意喚起、登下校時間帯のパトロールを強化している。

委員から、「対応に当たる警察官自身が受傷することがないように、教養、訓練を十分に実施していただきたい。」との発言があった。

(5) 児童相談所等との児童虐待対応合同訓練の実施について

県警察から、児童相談所等との児童虐待対応合同訓練の実施に関する報告があった。10月27日、秋田県子ども・女性・障害相談センターにおいて、年々増加傾向にある児童虐待事案への的確な対応、関係機関との連携強化、各機関の対応能力向上を目的として、秋田県及び県内各児童相談所との合同訓練を実施するとのことであった。

委員から、「立場の弱い子供たちが犠牲にならないよう、訓練を通じて虐待防止に努めてもらいたい。」との発言があった。

(6) 由利本荘市出戸町地内における殺人容疑事件の発生について

県警察から、由利本荘市出戸町地内における殺人容疑事件の発生に関する報告があった。

10月9日、由利本荘市内の一般住宅の火災現場及び隣接する空き家内において、男性死体3体が発見され、殺人容疑事件として捜査を開始したとのことであった。

委員から、「しっかり捜査していただきたい。」との発言があった。

(7) 令和5年度秋田県警察嘱託警察犬審査会について

県警察から、令和5年度秋田県警察嘱託警察犬審査会に関する報告があった。

9月26日、秋田県警察学校敷地内において、令和6年度の秋田県警察嘱託警察犬を選考するための審査会を実施した結果、適性が認められた出場犬を警察犬として嘱託する予定であるとのことであった。

委員から、「活躍を期待する。」との発言があった。

(8) 地域警察官等による現場鑑識競技会の開催について

県警察から、地域警察官等による現場鑑識競技会の開催に関する報告があった。

10月19日、秋田県警察学校において、現場臨場する機会の多い地域警察官等に対し、現場鑑識の重要性を浸透させ、総合的な鑑識技能の向上と底辺拡大を図ることを目的として、現場鑑識競技会を開催するとのことであった。

委員から、「現場警察官のレベルアップにつながることを期待する。」との発言があった。

(9) 秋田空港不法侵入事案対応訓練の実施結果について

県警察から、秋田空港不法侵入事案対応訓練の実施結果に関する報告があった。

10月3日、秋田空港の制限区域等において、不法侵入事案が発生したとの想定で訓練を実施し、秋田空港保安委員会等の関係機関との連携及び対応手順を確認したとのことであった。

委員から、「有事の際、適切に対応できるよう、引き続き訓練を実施していただきたい。」との発言があった。